



みぞぐち幸治

みせます つたえます つなげます

みぞぐち幸治事務所
〒868 0006
熊本県人吉市駒井田町1952-34
TEL 0966-22-5800
FAX 0966-22-5802
office@k-mizoguchi.com
http://www.k-mizoguchi.com

厳しい冬の寒さの中、二月二十一日に開会した定例県議会も春の訪れを感じる三月十七日に閉会しました。

平成二十九年度の一般会計当初予算は県政史上最大となる八八五六億九七〇〇万円となりました。

昨年、発生した熊本地震から早いもので一年が経過しました。今年には復興二元と位置づけ、これまでの復興の流れを更に強く、大きくし、熊本の創造的復興に弾みをつけ、加速化していく上で、大変重要な年となります。

そのような中、この度、議員各位の多数のご推挙により第九十五代熊本県議会副議長に就任いたしました。

身に余る光栄であり、同時に責任の重さを痛感しております。就任以来、多くの皆様から温かい

責任と覚悟 まずは震災復興に全力を尽くします
第九十五代 熊本県議会副議長 溝口幸治に就任しました。

お言葉や激励を頂き、改めてこれまでご支援、ご協力いただいた皆様、辛い時も苦しい時も支えて頂いた先輩各位、同志の皆様、ご指導いただいた多くの皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

今後は議長の補佐役としてその役割を果たすべく、県政発展のために汗をかく覚悟です。まずは震災からの復興に全力を尽くします。

同時に比較的、被害の少なかった人吉球磨をはじめ県内の元気な地域には地方創生の取り組みを中心にさらに元気が出るように支援をしていきたいと考えています。

大会開催まであと一〇〇〇日を切った二〇一九年、世界女子ハンドボール選手権大会、ラグビーワールドカップの準備を着実に



進め、さらに二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、熊本県の復興の姿や県内各地の魅力を国内外に発信していくことにも力を注いでいきたいと考えています。

引き続きのご支援、ご協力を心からお願いいたします。

活動 Photo ライブ



1月27日/たばこ播種



2月11日/第51回建国記念の日奉祝人吉会



1月16日/くま川下り温泉町発船場竣工式



2月17日/人吉市社会福祉のつどい



3月5日/自民党青年局表彰



2月19日/ひとよし春風マラソン 開会式

溝口幸治 新春の集い

みなさまのお志に感謝致します。ありがとうございました。

平成29年2月10日、新春の集いを開催いたしました。当日ご出席いただいた皆様、ならびにご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。



▼編集後記
映画「海賊とよばれた男」は出光興産創業者の井出佐三氏をモデルにしたと言われる主人公・田岡鐵造の物語です。「石油の時代」という未来を予想し、ヒト・モノ・カネという経営資源がほとんどない中、ルールすれすれで活路を見出し、欧米のメジャーに真っ向勝負を挑むその姿に大いに感銘を受けました。彼を突き動かしたのは単なる商売動機ではなく、国家のためという大義、そして大切な仲間を思う気持ち。本当の意味で人を動かすのは、利益ではなく、揺るがぬ信念であり、その気概なんだと改めて認識させられた映画でした。<K.T>

この会報のお問合せは
溝口幸治事務所
人吉市駒井田町1952-34
tel 0966-22-5800
fax 0966-22-5802
http://www.k-mizoguchi.com
E-mail:office@k-mizoguchi.com



発行 溝口幸治事務所
記載責任者 富山孝治



熊本の創造的復興に弾みをつけ、加速化していく上で、大変重要な年。

平成29年度 一般会計当初予算は県政史上最大となる

8856億9700万円

熊本の将来の発展につなげる「4つの創造」に重点的に取り組みます。

「次代を担う力強い
地域産業の創造」

これまで、1,800億円のつなぎ資金の確保や、信用保証料の無料化などにより、被災した中小・小規模企業の事業再開を支援してきました。また、グループ補助金の活用や観光需要を喚起する「九州ふっこう割」の効果もあり、地域経済は回復基調にあります。引き続き県内企業の復旧・復興に向けて、きめ細かな対応を図ります。また、農業においても、被災農業者向け経営体育成支援事業等の活用により、経営再建が確実に進んでいます。被災した農地の復旧に当たっては、大区画化や担い手への農地集積などの創造的復興により、「強い農業」「稼げる農業」を実現します。

「安心して希望に満ちた
暮らしの創造」
特に「住まいの再建」

- ①既に応急仮設住宅の整備・入居は完了し、これからは本格的な住まいの再建の段階に入ります。まず、低価格で耐震性に優れた「くまもと型復興住宅」を普及させることにより、住宅の自立再建を後押しします。
- ②“あんしん” “あたたかさ” “ふれあい”の3つの視点により、市町村と連携した災害公営住宅の整備を促進します。併せて、被災宅地の復旧や、住宅の耐震化も進めます。
- ③南阿蘇村立野地区をはじめ、地震の影響による人口流出や、活力の低下が懸念される地域のコミュニティの再生についても、住民の皆様へ寄り添いながら、様々な課題解決に向けた取組みを支援します。

「世界とつながる
新たな熊本の創造」

特に世界に向けて開かれるゲートウェイとなる「阿蘇くまもと空港」と、「熊本港」「八代港」の整備を進めて参ります。

阿蘇くまもと空港においては、熊本地震からの「創造的復興のシンボル」として、民間の知恵と資金を取り込む「コンセッション方式」を導入し、国内線・国際線ターミナルビルの一体的整備に取り組みます。国においても、県の取組みと連携し、既に国内線の仮設ターミナルビルの建設やコンセッション導入に向けて動き出されております。

県としては、地元市町村や県内経済界と連携しながら、阿蘇くまもと空港及び周辺地域の発展につなげていきます。

熊本港・八代港についても、「世界とつながる」拠点化を進めます。特に八代港については、物流拠点機能の向上や、クルーズ船寄港数を大幅に増やすための受入れ環境の充実を図ります。

1月末には、全国6カ所の「官民連携による国際クルーズ拠点」の一つとして、八代港が選定されました。今後、ロイヤル・カリビアン・クルーズ社と連携し、世界に誇れる魅力的なウォーターフロント、さらには世界的なクルーズ拠点を形成していきます。

「未来へつなぐ資産の創造」

- ①地震により大きく傷ついた阿蘇へのアクセスルートは、国からの強力な支援により、俵山ルートが昨年末に暫定開通し、阿蘇への大動脈である国道57号は、現道の調査とともに、北側復旧ルートの工事が進められています。通勤、通学といった生活基盤の回復のみならず、観光をはじめ地域産業の再生に向け、国道57号、国道325号阿蘇大橋といった阿蘇への主要アクセスルートの早期回復を目指し、併せて、JR豊肥本線や南阿蘇鉄道の早期復旧に向けても、国や地元、関係機関と連携して取り組みます。
- ②甚大な被害を受けた益城町をはじめ熊本都市圏東部地域の復興については、県道熊本高森線の4車線化をはじめ、地域のポテンシャルを最大化するため、100年後を見据えたまちづくりを全力で支援します。
- ③熊本県民の誇りである熊本城の復旧・復興については、熊本市との緊密な連携のもと、国際スポーツ大会が開催される2019年を目途に天守閣の復旧を目指すとともに、今後概ね20年をかけて、全体的な復旧・復元を図ります。